

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-01		
施設名	荒川総合スポーツセンター				
所在地	南千住六丁目45番5号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和60年	2,930,000		
	増改築①	令和元年	3,406,709	263,233	965,400
	増改築②				2,178,076
併設施設	南千住野球場				
竣工年月日	昭和60年3月25日		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和60年6月2日		職員数	51	
構造	SRC造		階層	地上4階、地下1階	
面積	敷地面積		6,412.09 m ²		
	延床面積		12,638.35 m ²		
設置目的・経緯	スポーツ及びレクリエーションの普及・振興を図り、健康で文化的な区民生活の向上に寄与する				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川総合スポーツセンター条例				
駐車場の状況	57台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	212台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	T M共同事業体	期間	令和2年4月1日 令和7年3月31日	から まで
事業内容	①管理運営（小体育室、トレーニングルーム、温水プール、ホール、管理事務室、キッズルーム、スタジオ、エアライフル場、大体育室、卓球場、第1武道場、第2武道場、弓道場、洋室会議室、和室会議室、第1,2クラブ室） ②教室・講習会（通年制教室、定期制スポーツ教室、1回制教室、キッズルーム教室、自主事業教室等）				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	午前8時～午後10時30分			
	休日	1月1日～1月3日、館内整備等による臨時休館			

施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度（見込み）
		団体利用者数（人）	267,445	0	90,990	207,404
個人利用者数（人）	217,745	0	128,133	149,059	164,000	
教室受講者数（人）	147,100	0	65,891	104,558	115,000	
大体育室稼働率（%）	92	0	92	92	94	
小体育室稼働率（%）	89	0	96	91	93	
教室開催数（回）	6,991	0	4,562	6,848	6,985	
教室申込率（%）	69	0	65	56	56	
開館日数（日）	344	0	300	327	354	
に指定 用係等 管理 費	指定管理料（千円）	97,122	0	105,668	131,868	161,558
	指定管理者の支出合計（千円）	268,587	0	262,984	323,955	286,571
	指定管理者の人員費（千円）	118,247	0	129,844	144,324	147,161
	指定管理者の利用料金収入（千円）	151,921	0	109,892	170,270	142,790

備考 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、休館（4月27日～5月31日）、施設の利用時間を午後8時までに変更（6月1日～9月30日）、施設の利用時間を午後9時までに変更（10月1日～10月31日）、その他状況に応じ利用目的の制限等をしたが、令和2年度よりも利用が回復した。

III 財務諸表

(単位:千円)

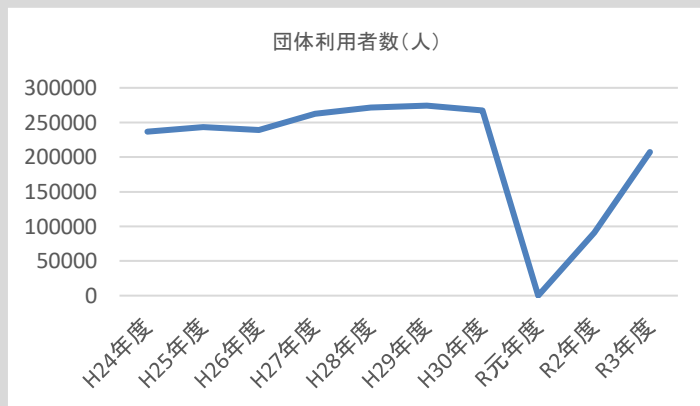
行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目		
	R2年度	R3年度	差額		R2年度	R3年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
	物件費	281,470	143,652	▲ 137,818	国庫支出金	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0
	補助費等	45,846	47	▲ 45,799	使用料及び手数料	3,047	3,201
	減価償却費	241,634	248,048	6,414	その他	167	13,110
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3,214	16,311
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 565,736	▲ 375,436
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 660	▲ 665
	行政費用合計(b)	568,950	391,747	▲ 177,203	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 566,396	▲ 376,101
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 566,396	▲ 376,101	
貸借対照表	勘定科目			勘定科目			
	R2年度	R3年度	差額	R2年度	R3年度	差額	
	流動資産			流動負債			
	収入未済	0	0	還付未済金	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	特別区債	66,000	186,670	
	その他の流動資産	0	0	賞与引当金	0	0	
	有形固定資産	4,444,774	4,203,140	▲ 241,634	その他の流動負債	0	0
	土地	1,055,377	1,055,377	0	固定負債	1,727,400	1,540,730
	建物	6,313,992	6,313,992	0	特別区債	1,727,400	1,540,730
	建物減価償却累計額	▲ 3,004,574	▲ 3,241,846	▲ 237,272	退職給与引当金	0	0
工作物等	96,066	96,066	0	その他の固定負債	0	0	
工作物等減価償却累計額	▲ 16,087	▲ 20,449	▲ 4,362	負債の部合計	1,793,400	1,727,400	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	2,674,050	2,502,574	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	2,674,050	2,502,574	
その他の固定資産	22,676	26,834	4,158	負債及び正味財産の部合計	4,467,450	4,229,974	
資産の部合計	4,467,450	4,229,974	▲ 237,476				

備考 令和2年度物件費には大規模改修に伴う初度調弁費用(備品購入費等)が含まれている。令和3年度の物件費は委託料(指定管理料)が多くを占めている。令和2年度に実施した新型コロナウイルスに伴う減収補填を令和3年度は実施していないため補助費等が減少した。行政収入のその他は令和2年度指定管理料(人件費・修繕費)の返納金である。

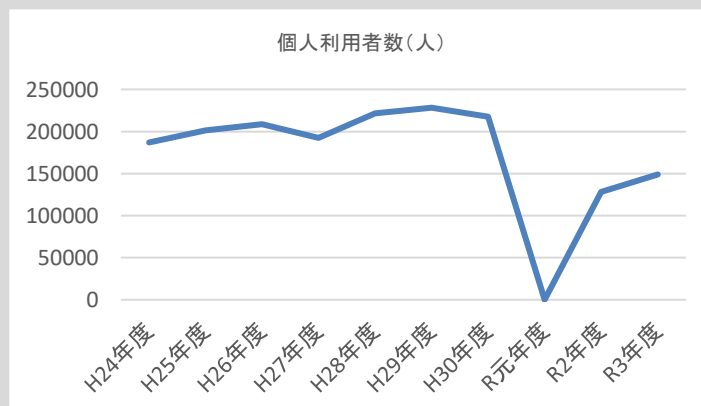
	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	92	43	47	50.9	
	1㎡当たりコスト(円)	15,893	14,685	47,122	32,446	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	44.0	-	49.4	44.6	
	利用者1人当たりコスト(円)	303	-	1,996	850	
	区民1人当たりコスト(円)	894	826	2,651	1,819	
	受益者負担比率(%)	42	-	25	29.2	
	開館1日当たりコスト(円)	557,834	-	1,896,500	1,198,003	
備考	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数、開館日数が減少したことや大規模改修にかかる費用が発生したことにより利用者コスト等が大幅に増加した。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響及び大規模改修に伴う減価償却により開館1日当たりコスト等が大規模改修前と比較し増加している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	利用者数	実績値 632,290	目標値 0	0	285,014	461,021
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成19年度から指定管理者制度を導入) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	○ 区のスポーツ振興の中心的な施設として、多くの区民にスポーツを楽しむ施設として利用されている。					
現状・課題	○ 令和元年度に実施した大規模改修で整備したバリアフリー機能を生かした、障がい者や高齢者を含む多くの区民がスポーツを楽しめる事業等の実施を検討する。 ○ 新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数がコロナ禍以前の水準に回復していないため、多様ニーズに対応した施設運営や事業等を検討する。					
課題に対する現時点での考え	○ 障がい者スポーツに関わる資格を有する職員の育成、地域との連携強化について指定管理者に働きかけを行う。 ○ 新型コロナウイルス感染症対策として、スポーツ庁を始めとしたスポーツ関係団体のガイドラインや運用方法を参考にしつつ、当施設の実情にあわせた対策を行う。					
議会、利用者等からの意見	○ H28年決特 スポーツセンター 指定管理の決算について ○ H29年予特 大規模改修時の代替施設について ○ R1年9月会議 利用料金改定について ○ R2年度決得 混雑時の利用者対応について					



令和元年度は、大規模改修工事による休館のため計上なし。令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、減少していた利用者数が平成30年度比で約8割まで回復した。



令和元年度は、大規模改修工事による休館のため計上なし。令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、減少していた利用者数が平成30年度比で約7割まで回復した。

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-02		
施設名	荒川遊園スポーツハウス				
所在地	西尾久八丁目3番1号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成5年	3,070,000		
	増改築①				
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	平成5年6月24日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成5年7月26日		職員数	68	
構造	RC造(一部S造)		階層	地上3階、地下1階	
面積	敷地面積		1399.9m ² m ²		
	延床面積		4493.12m ² m ²		
設置目的・経緯	広く区民の利用に供し、区民の健康の増進と体力の維持向上を図るとともに、スポーツの振興に寄与する。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川遊園スポーツハウス条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	45台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社日新ウエルネス	期間	令和4年4月1日 令和5年3月31日	から まで	
事業内容	①施設の管理運営(アリーナ、トレーニングルーム、会議室1,2、事務室、温水プール) ②教室運営(通年制水泳教室、通年制スポーツ教室、アリーナ自由会員制教室等)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後9時30分				
	休日	年末年始(12月29日から1月3日)、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
	団体利用者数(人)	16,322	19,102	7,799	15,025	17,000
	個人利用者数(人)	93,761	112,851	46,015	53,976	63,000
	教室受講者数(人)	58,029	57,545	33,888	44,916	51,600
	アリーナ稼働率(%)	49	55	30	38	39
	会議室稼働率(%)	23	18	9	11	12
	教室開催数(回)	2,468	2,366	1,487	2,279	2,284
	教室申込率(%)	53	55	55	53	54
	開館日数(日)	355	322	298	310	355
	委託料(千円)	95,811	103,212	104,612	92,411	95,448
に指定 等管理 費用						
備考	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、休館(4月27日～5月31日)、施設の利用時間を午後8時までに変更(6月1日～9月30日)、施設の利用時間を午後9時までに変更(10月1日～10月31日)、その他状況に応じ利用目的の制限等をしたが、令和2年度よりも利用が回復した。					

III 財務諸表

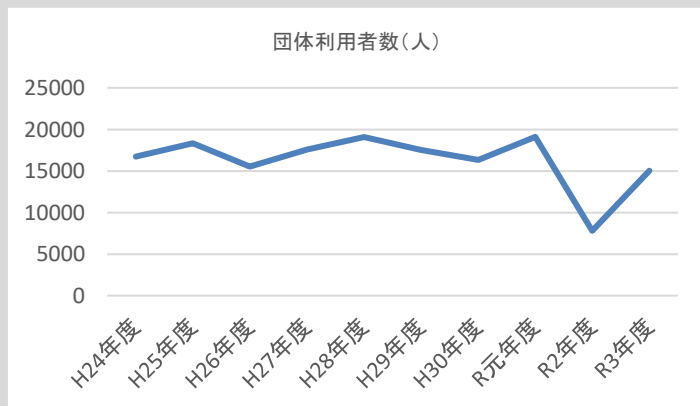
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	
	行政費用	給与関係費	13,309	0	▲ 13,309	地方税等	0	0	0
	物件費	156,638	148,042	▲ 8,596	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	850	43,120	42,270	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	693	3	▲ 690	使用料及び手数料	23,408	30,845	7,437	
	減価償却費	87,728	87,728	0	その他	17,931	191	▲ 17,740	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	41,339	31,036	▲ 10,303	
	賞与・退職給与引当金繰入額	692	0	▲ 692	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 218,571	▲ 291,537	▲ 72,966	
	その他行政費用	0	43,680	43,680	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	259,910	322,573	62,663	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 218,571	▲ 291,537	▲ 72,966	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 218,571	▲ 291,537	▲ 72,966	
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	864,960	779,304	▲ 85,656	賞与引当金	0	0	0
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	3,111,239	3,111,239	0	固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 2,246,278	▲ 2,331,935	▲ 85,657	特別区債	0	0	0
		工作物等	37,588	37,588	0	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 37,588	▲ 37,588	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
	建設仮勘定	3,461	3,461	0	正味財産	872,565	786,870	▲ 85,695	
	その他の固定資産	4,144	4,105	▲ 39	正味財産の部合計	872,565	786,870	▲ 85,695	
	資産の部合計	872,565	786,870	▲ 85,695	負債及び正味財産の部合計	872,565	786,870	▲ 85,695	
備考	行政費用は物件費が主であり、委託料(管理運営等)が大半を占めている。3年度から教室運営委託の契約方法を変更したため減少した。維持補修費はバコティンヒーター改修により増加した。その他行政費用はブロック舗装改修費である。その他行政収入は教室運営委託の契約方法の変更に伴い減少した。3年度は、自動販売機電気使用料のみである。								

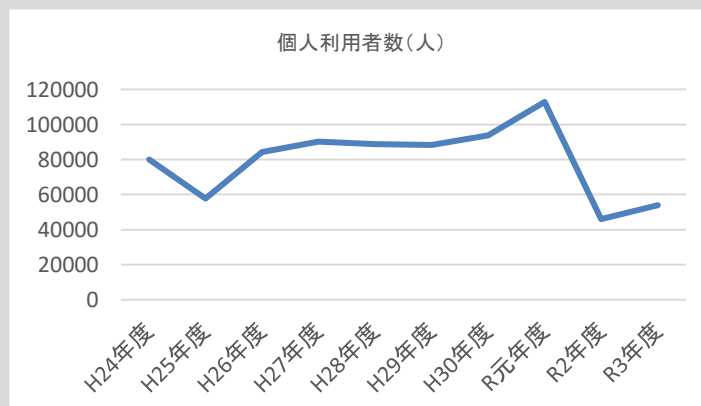
	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	67	70	73	75.3	
	1㎡当たりコスト(円)	63,148	64,741	57,846	71,793	
	受益者負担比率(%)	17	16	9.0	9.6	
	開館1日当たりコスト(円)	799,245	903,382	872,181	1,040,558	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,688	1,535	2,964	2,832	
	区民1人当たりコスト(円)	1,322	1,355	1,211	1,498	
備考	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開館日数は減少し、パコティンヒーターやブロック舗装の改修により、行政費用が増加したため、開館1日当たりコストが増加している。また、行政費用の増加に伴い、区民1人当たりコストも増加している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	利用者数	目標値 -	実績値 168,097	-	87,702	113,917
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● その他(指定管理者制度の導入検討)					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	○ 尾久地区居住者の利用が多く、地域密着型の施設として利用されている。					
現状・課題	○ 令和4年度以降、施設や設備の改修を実施する。 ○ 老朽化部分の対応と、バリアフリー環境を目指し、障がい者や高齢者を含めた多くの区民が利用しやすい施設とする必要がある。 ○ 荒川総合スポーツセンターとの連携を含め、効率的・効果的な管理・運営方法等の検討が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○ 利用者からの意見・要望を踏まえて、関係機関と打合せを行いながら、特色のある施設運営や改修における改善を検討する。 ○ 指定管理者制度の導入を含めて検討を進める。					
議会、利用者等からの意見	○ H29 予特 音響設備の更新、会議室什器の更新、子ども用便座の設置について ○ H30 決特 施設の老朽化・使い勝手及び今後の回収予定・方針の検討について ○ 令和2年度11月定例会 改修や運営方法の方向性について ○ 令和3年度予特 改修の予定、改修後の運営方法について					



令和元年度は、荒川総合スポーツセンター大規模改修工事の影響により利用者数が増加した。令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により減少していた利用者数が平成30年度比で約9割まで回復した。



令和元年度は、荒川総合スポーツセンター大規模改修工事の影響により利用者数が増加した。令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により減少していた利用者数が令和30年度比で約6割まで回復した。

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-05		
施設名	区民運動場				
所在地	西尾久三丁目14番3号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和54年3月			
	増改築①	平成27年4月	370,000		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和54年3月		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和54年3月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積		7,339 m ²		
	延床面積		569 m ²		
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署	教育委員会事務局 教育施設課				
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	20台	対応状況	○点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで	
事業内容	①管理業務 (管理事務所・多目的グラウンド・小広場・駐輪場) : シルバー人材センター (R4. 4. 1~R5. 3. 31) ②補修業務 (多目的グラウンド・小広場・駐輪場) : ワールドビルサービス (R4. 4. 1~R5. 3. 31) ③清掃業務 (管理事務所) : 新菱ビルサービス (R3. 4. 1~R6. 3. 31)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	土日祝の9:00~17:00 (5月~9月は1時間延長可)				
	休日	平日、年末年始12/29~1/3、土日祝の学校行事及び授業公開日等				
施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (見込み)
	多目的グラウンド利用者数	8,712	8,976	7,194	9,306	10,904
	小広場利用者数	1,318	1,320	1,024	1,292	1,508
	多目的グラウンド (件数)	396	408	327	423	496
	小広場 (件数)	659	660	512	646	757
	稼働率 (多目的)	96	98	93	95	98
	稼働率 (小広場)	80	82	74	74	76
	開場日数	115	119	82	99	116
	委託料 (円)	6,540,580	7,227,843	6,465,025	6,842,818	7,293,086
に指定 等管理 費理						
備考	土日祝の貸出であるため、稼働率は高く推移している。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、休場 (4月27日~5月11日)、その他状況に応じ利用目的の制限等をしたが、例年並みに利用が回復した。					

III 財務諸表

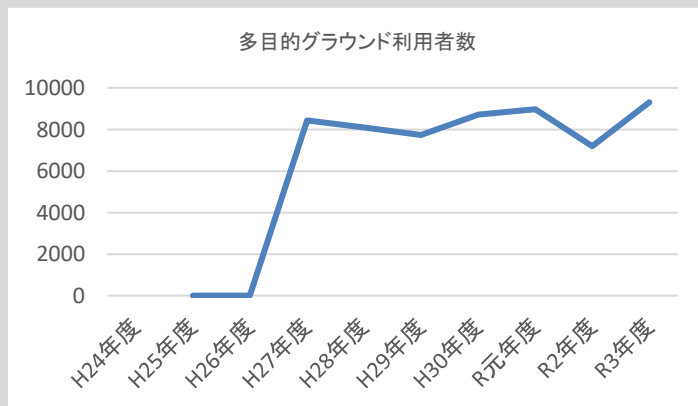
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	6,916	8,427	1,511	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	58	372	314	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	583	701	118
	減価償却費	30,940	30,940	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計 (a)	583	701	118
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	▲ 37,331	▲ 39,038	▲ 1,707
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額 (d)	0	0	0
	行政費用合計 (b)	37,914	39,739	1,825	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	▲ 37,331	▲ 39,038	▲ 1,707
特別費用 (g)	0	0	0	特別収入 (f)	0	0	0	
特別収支差額 (f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額 (e)+(h)	▲ 37,331	▲ 39,038	▲ 1,707	
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	1,103,426	1,072,486	▲ 30,940	その他の流動負債	0	0	0
	土地	709,032	709,032	0	固定負債	0	0	0
	建物	217,754	217,754	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 47,035	▲ 52,914	▲ 5,879	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	374,039	374,039	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 150,364	▲ 175,424	▲ 25,060	負債の部合計	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	正味財産	1,103,426	1,072,486	▲ 30,940	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	1,103,426	1,072,486	▲ 30,940	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	1,103,426	1,072,486	▲ 30,940	
資産の部合計	1,103,426	1,072,486	▲ 30,940					
備考	行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち、委託料 (日常補修業務、清掃業務、管理業務) が大部分を占めている。維持補修費の増は、工作物の修繕が増加したことによる。行政収入は、運動場の使用料収入であり、令和3年度は利用件数が回復したため増加した。							

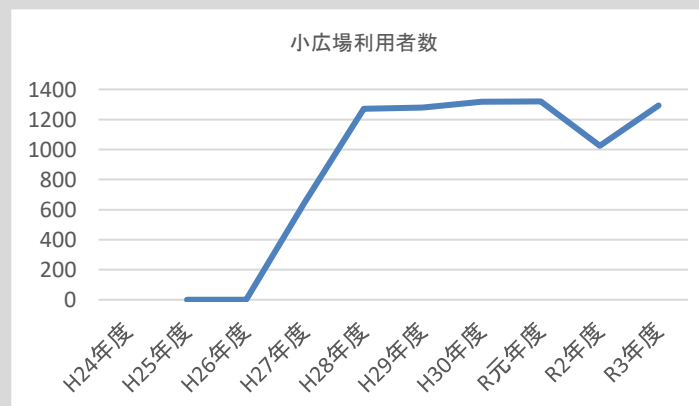
指標		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	23	28	33	38.6	
	1㎡当たりコスト(円)	5,211	5,245	5,166	5,415	
	受益者負担比率(%)	2	2	2	1.8	
	開館1日当たりコスト(円)	332,530	323,496	462,366	401,404	
	利用者1件当たりコスト(円)	3,813	3,739	4,614	3,750	
	区民1人当たりコスト(円)	178	179	177	185	
備考	各コストとも、大きな変動なく推移している。1日当たりコストが他の運動場と比較して高いのは、平日は中学校として使用しているため、土日祝のみの可動によるものである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	実績値 1,055	1,068	839	1,069
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	区営スポーツ施設で唯一の人工芝グラウンドであり、雨天等においても利用可能であるなど利用しやすいことから利用者が多い。					
現状・課題	○ 駐輪場の駐輪可能台数が限られているため、対応が必要である。 ○ 小広場では日陰がないため、熱中症対策が必要である。 ○ 人工芝は劣化していくため、今後は補修対応が必要となってくる。					
課題に対する現時点での考え	○ 大会等の開催時には、学校のスペースを活用し、駐輪場スペースを確保する。 ○ 日除けを確保するなどの熱中症対策を行う。あわせて、気温と人工芝の表面温度について計測し、必要に応じて利用者へ注意喚起を行う。 ○ 施設の補修について、計画的に対応していく。					
議会、利用者等からの意見						



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、利用者数が減少したが、令和3年度はコロナ禍前の水準に回復した。



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、利用者数が減少したが、令和3年度はコロナ禍前の水準に回復した。

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-04		
施設名	東尾久運動場				
所在地	東尾久七丁目1番1号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成3年5月			
	増改築①				
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	平成3年5月		区職員	その他	
供用開始年月日	平成3年5月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積			29,195	m ²
	延床面積			114	m ²
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	60台	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> トイレ	
駐輪場の状況	約90台	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から
				下記のとおり	まで
事業内容	①管理：テニス5面（人工芝）、小広場、スリ-オ-スリ-、多目的広場：シルバー人材センター（R4.4.1～R5.3.31） ②補修：テニス5面（人工芝）、小広場、スリ-オ-スリ-、多目的広場：北川商会（R4.4.1～R5.3.31） ③駐車場管理運営業務：タイムズ24株式会社（R3.4.1～R.6.31） ④多目的広場トイレ清掃：シルバー人材センター（R4.4.1～R5.3.31）				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	4～9月9:00～18:00、10～3月9:00～17:00（4～10月土日祝7:00～、11～12月土日祝8:00～）			
	休日	年末年始12/29～1/3			

施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度（見込み）
		庭球場、多目的広場等利用者数	23,900	47,154	37,595	49,317
庭球場、多目的広場等（件数）	10,372	11,455	9,161	11,343	9,219	
稼働率（庭球場）	52	59	50	60	57	
稼働率（多目的）	24	58	56	61	59	
開場日数	359	359	305	344	358	
委託料（円）	18,501,387	24,635,271	26,113,962	25,561,701	27,614,101	
に指定等管理費						

備考 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、休場（4月27日～5月11日）、その他状況に応じ利用目的の制限等をしたが、利用状況は例年並みに回復した。令和4年度7月1日～10月中旬（予定）まで東尾久運動場DE面人工芝張替え工事のため見込みが減少している。平成30年度9月以降は、委託料に維持補修経費が含まれている。

III 財務諸表

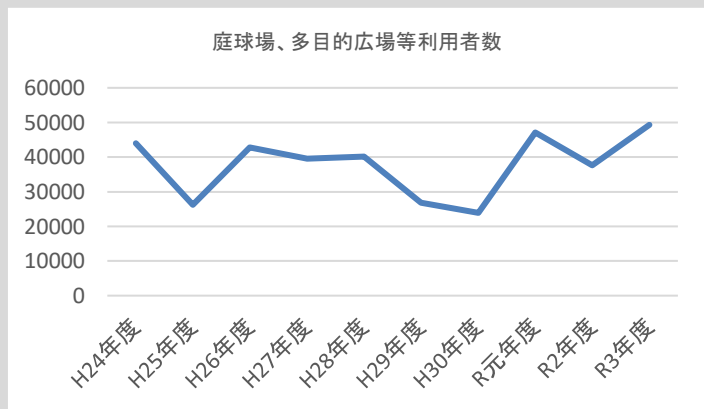
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
	物件費	32,415	30,571	▲ 1,844	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	4,522	699	▲ 3,823	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	13,625	18,682	5,057
	減価償却費	6,611	8,980	2,369	その他	66	60	▲ 6
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	13,691	18,742	5,051
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 41,407	▲ 21,508	19,899
	その他行政費用	11,550	0	▲ 11,550	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	55,098	40,250	▲ 14,848	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 41,407	▲ 21,508	19,899
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 41,407	▲ 21,508	19,899
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	96,334	87,772	▲ 8,562	賞与引当金	0	0	0
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	43,776	43,776	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 26,797	▲ 27,665	▲ 868	特別区債	0	0	0
	工作物等	129,279	129,279	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 49,925	▲ 57,618	▲ 7,693	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	98,848	89,867	▲ 8,981
	その他の固定資産	2,514	2,095	▲ 419	正味財産の部合計	98,848	89,867	▲ 8,981
	資産の部合計	98,848	89,867	▲ 8,981	負債及び正味財産の部合計	98,848	89,867	▲ 8,981
備考	行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料(日常管理・補修業務、貸出業務、駐車場の運営業務等)が大部分を占めている。維持補修費とその他行政費用の減は庭球場ABC面人工芝張替え工事が令和2年度に完了したことによる。行政収入は、運動場の使用料収入と自動販売機電気使用料であり、令和3年度は利用件数が回復したため増加した。							

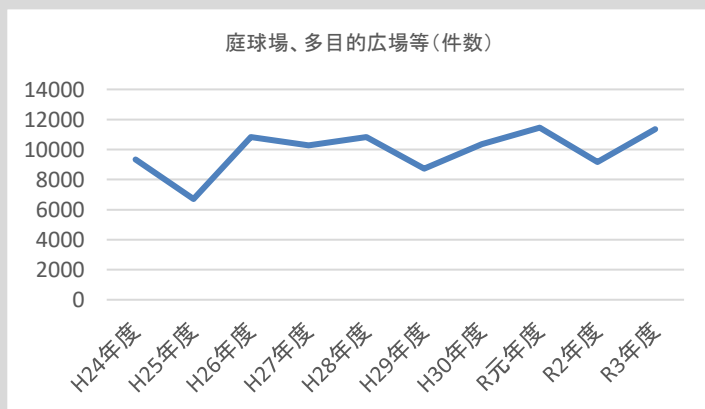
指標		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	41	45	44	49.3	
	1㎡当たりコスト(円)	2,695	1,394	1,945	1,421	
	受益者負担比率(%)	11	38	25	46.4	
	開館1日当たりコスト(円)	212,660	110,047	180,649	117,006	
	利用者1人当たりコスト(円)	3,194	838	1,466	816	
	区民1人当たりコスト(円)	356	184	257	188	
備考	平成30年度の開館1日当たりコスト、利用者1人当たりコストが高いのは、拡張整備工事により施設を休場(H29.5~H30.9)していたことによるものである。また、令和2年度は庭球場ABC面人工芝張替え工事を行ったことや新型コロナウイルス感染拡大の影響で施設を休場したことにより、各コストが高くなっている。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	利用件数	10,372	11,455	9,161	11,343	11,805
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	テニスコートは平日も含め利用率が高い					
現状・課題	○テニスコートDE面の人工芝については、安全に利用できるよう対策を行う必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○安全に利用できる状態にするため、テニスコートの人工芝の一部については改修を行う。 ○令和4年度7月から10月中旬にかけてDE面人工芝張替え工事を実施する予定である。					
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 多目的広場の人工芝化について フェンスの高さの検討について					



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響及びABC面人工芝張替え工事のため利用者数が減少したが、令和3年度はコロナ禍前の水準に戻りつつある。



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響及びABC面人工芝張替え工事のため利用者数が減少したが、令和3年度はコロナ禍前の水準に戻りつつある。

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-03			
施設名	南千住野球場					
所在地	南千住六丁目45番6号					
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
	建築	昭和57年7月	5,600,000	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	昭和57年7月		区職員	その他		
供用開始年月日	昭和57年7月		職員数			
構造			階層			
面積	敷地面積			17,415	m ²	
	延床面積				m ²	
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例					
駐車場の状況	57台	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> トイレ		
駐輪場の状況	212台	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から
				下記のとおり	まで
事業内容	①体育施設受付及び貸出業務(野球場2面): TM共同事業体(R2.4.1~R7.3.31) ②補修管理(野球場2面、外周): ケルンビルシステム(R4.4.1~R5.3.31)				
対象者	一般区民他、区民以外も可				
運営時間等	運営時間	4~10月9:00~20:45(日・祝は7:00~)、11~2月9:00~15:30、3月9:00~17:30			
	休日	年始1/1~1/3			

施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
	野球場利用者数		21,492	13,554	15,210	18,252
野球場(件数)		1,194	753	845	1,014	1,055
稼働率		44	26	35	37	34
開場日数		314	357	308	347	358
委託料(円)		9,680,972	11,190,501	14,876,982	11,709,275	9,672,966
に指定 等する 管理 費						

備考 休日を中心に利用されているが、平日の利用者も多い。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、休場(4月27日~5月11日)、その他状況に応じ利用目的の制限等をしたが、例年並みに利用が回復した。

III 財務諸表

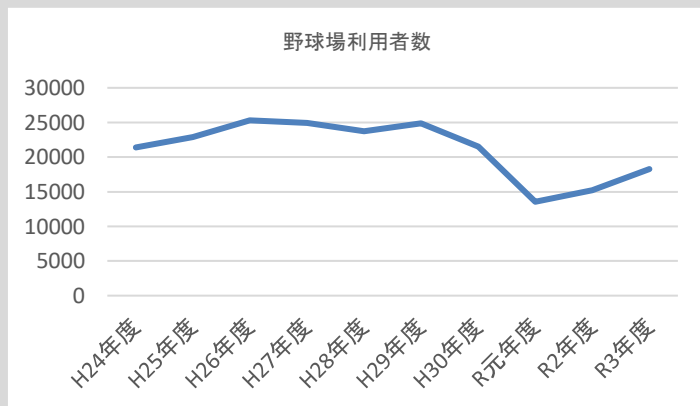
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
	物件費	14,878	13,134	▲ 1,744	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	165	165	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	1,746	2,057	311
	減価償却費	54	54	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,746	2,057	311
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 13,186	▲ 25,558	▲ 12,372
	その他行政費用	0	14,262	14,262	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	14,932	27,615	12,683	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 13,186	▲ 25,558	▲ 12,372
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 13,186	▲ 25,558	▲ 12,372
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	3,067,160	3,077,393	10,233	賞与引当金	0	0	0
	土地	3,066,735	3,066,735	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	350,077	360,363	10,286	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 349,652	▲ 349,706	▲ 54	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	3,067,160	3,077,393	10,233
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	3,067,160	3,077,393	10,233
	資産の部合計	3,067,160	3,077,393	10,233	負債及び正味財産の部合計	3,067,160	3,077,393	10,233
備考	行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料(日常補修業務、照明点検、受付業務等)が大部分を占めている。その他行政費用は令和3年度にB面防球ネット改修工事を行ったため増加した。行政収入は、運動場の使用料収入であり、令和3年度は利用件数が回復したため増加した。							

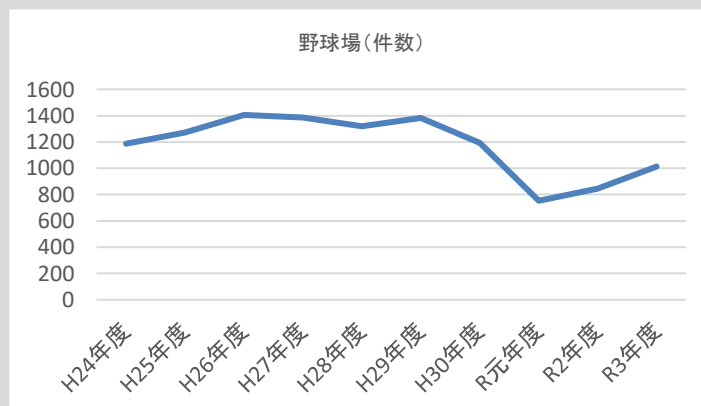
指標		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費(%)	100	100	100	97.0	
	1㎡当たりコスト(円)	897	1,750	857	1,586	
	受益者負担比率(%)	18	6	12	7.4	
	開館1日当たりコスト(円)	49,761	85,353	48,481	79,582	
	利用者1人当たりコスト(円)	727	2,248	982	1,513	
	区民1人当たりコスト(円)	73	142	70	129	
備考	平成30年度は荒川総合スポーツセンターの大規模改修工事に伴い、開場日数が減少したため、開館1人当たりのコストが増加した。令和3年度はB面防球ネット改修工事を行ったため、各コストが増加している。他の野球場と比較して1人当たりに要するコストが低いのは、立地状況が良く、平日昼間の稼働率が他と比較して高いためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	実績値 1,194	753	845	1,014
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	立地に恵まれ、設備も整っているため平日昼間の利用率が高い。					
現状・課題	○野球場は区道、民間住宅に隣接しているため、防球ネット等の安全対策が必要である。 ○野球場外周の樹木に害虫が発生しやすいため、剪定や消毒などの対策が必要である。 ○野球場外周の樹木については、倒木等の可能性もあるため管理が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○施設周辺の歩行者等への注意喚起を図るとともに、施設の安全対策(樹木剪定、防球ネット設置の検討)を実施する。					
議会、利用者等からの意見						



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響による休場のため減少傾向にあったが、令和3年度はコロナ禍前の水準に戻りつつある。



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響による休場のため減少傾向にあったが、令和3年度はコロナ禍前の水準に戻りつつある。

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-08		
施設名	少年運動場				
所在地	足立区小台一丁目22番地先				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和45年11月			
	増改築①	平成28年1月	79,380		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和45年11月		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和45年11月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積		47,647 m ²		
	延床面積		m ²		
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	92台	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	約290台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで
事業内容	①管理・補修業務(少年野球場7面、サッカー場1面、多目的広場1面、駐車場) :ケルンビルシステム (R4.4.1~R5.3.31) ②駐車場利用者確認業務(駐車場):シルバー人材センター (R4.4.1~R5.3.31)				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	4~9月6:00~18:00、10・3月7:00~17:00、11~2月8:00~16:00			
	休日	年末年始12/29~1/3			

施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
	野球場、サッカー場等利用者数		78,880	48,876	60,922	86,962
野球場、サッカー場等(件数)		4,230	2,648	3,225	4,595	4,782
稼働率(野球場)		27	31	25	28	28
稼働率(サッカー場)		25	22	24	26	26
稼働率(多目的)		28	10	30	35	33
開場日数		359	203	305	344	358
委託料(円)		27,908,133	73,362,695	105,832,752	35,237,071	36,600,608
に指定 等管理 費用						

備考 令和元年度は台風による冠水被害に伴う休場のため利用が減少した。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、休場(4月27日~5月11日)、その他状況に応じ利用目的の制限等をしたが、利用状況は例年並みに回復した。

III 財務諸表

(単位:千円)

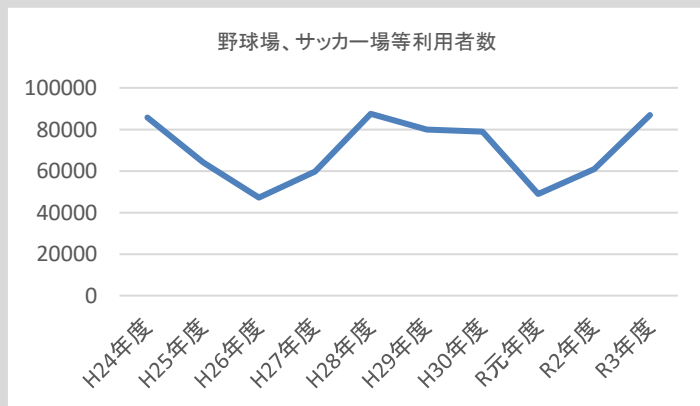
行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
	物件費	7,584	5,617	▲ 1,967	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	67,441	244	▲ 67,197	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	673	783	110
	減価償却費	918	918	0	その他	39	0	▲ 39
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	712	783	71
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 75,231	▲ 5,996	69,235
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	75,943	6,779	▲ 69,164	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 75,231	▲ 5,996	69,235
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 75,231	▲ 5,996	69,235
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	19,543	18,625	▲ 918	賞与引当金	0	0	0
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	13,574	13,574	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 2,240	▲ 2,688	▲ 448	特別区債	0	0	0
	工作物等	74,848	74,848	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 66,639	▲ 67,109	▲ 470	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	19,543	18,625	▲ 918
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	19,543	18,625	▲ 918
	資産の部合計	19,543	18,625	▲ 918	負債及び正味財産の部合計	19,543	18,625	▲ 918

備考 行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料(日常補修業務、駐車場管理運営)が大部分を占めている。令和元年度に発生した台風による冠水被害の復旧整備委託が令和2年度に完了したため、物件費及び維持補修費が減少した。令和2年度の行政収入のその他は冠水被害における施設修繕の共済金である。

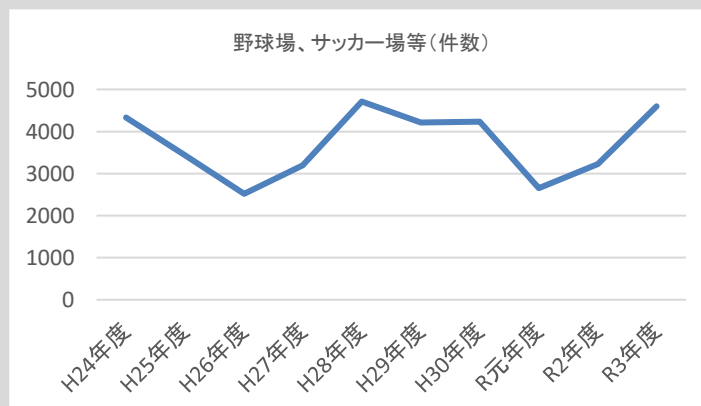
指標		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	76	77	78	78.9	
	1㎡当たりコスト(円)	173	153	1,594	142	
	受益者負担比率(%)	10	7	1	11.6	
	開館1日当たりコスト(円)	22,950	36,015	248,993	19,706	
	利用者1人当たりコスト(円)	104	150	1,247	78	
	区民1人当たりコスト(円)	38	34	354	32	
備考	日常補修に要する経費が「西新井橋野球場」に含まれるため、開館1日当たり・1人当たりコストが低くなっている。令和元年度・2年度は台風冠水被害の復旧作業を行ったため、各コストが高くなっている。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)							
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)		
	利用件数	目標値 -	実績値 4,230	-	2,648	3,225	4,595	4,782
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()							
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無							
利用者・地域のニーズ	少年野球7面を有し、大会開催等の実施会場として需要が高い。							
現状・課題	○河川敷に設置しているため、河川管理上の制約があることから、施設の整備についても制約がある。							
課題に対する現時点での考え	○利用者が安全かつ快適に利用できるよう、貸出ルールや運営方法などのソフト面での対応について検討する。							
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 トイレの手洗い場の案内について							



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により例年より減少したが、令和3年度はコロナ禍前の水準に回復した。



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により例年より減少したが、令和3年度はコロナ禍前の水準に回復した。

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-06		
施設名	荒川遊園運動場				
所在地	西尾久八丁目1番2号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和62年4月			
	増改築①	平成5年10月	140,000		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成5年4月		区職員	その他	
供用開始年月日	平成5年4月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積		5,430 m ²		
	延床面積		m ²		
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで
事業内容	①受付・開閉場（運動場）：株式会社日新ウエルネス（R4.4.1～R5.3.31） ②補修業務（運動場）：上園緑地建設（R4.4.1～R5.3.31） ③樹木剪定（運動場・スポーツハウス）：総合造園（R4.4.1～R5.3.31）				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	9:00～20:00（日・祝は7:00～20:00）			
	休日	年末年始12/29～1/3			

施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度（見込み）
	運動場利用者数		21,160	20,380	16,660	18,660
運動場（件数）		1,058	1,019	833	933	971
稼働率		57	71	60	62	52
開場日数		359	359	305	321	358
委託料（円）		6,193,951	7,400,194	9,484,553	10,160,699	10,454,063
に指定 等管理 費						

備考 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、休場（4月27日～5月11日）、その他状況に応じ利用目的の制限等をしたが、利用状況は例年並みに回復した。

III 財務諸表

(単位:千円)

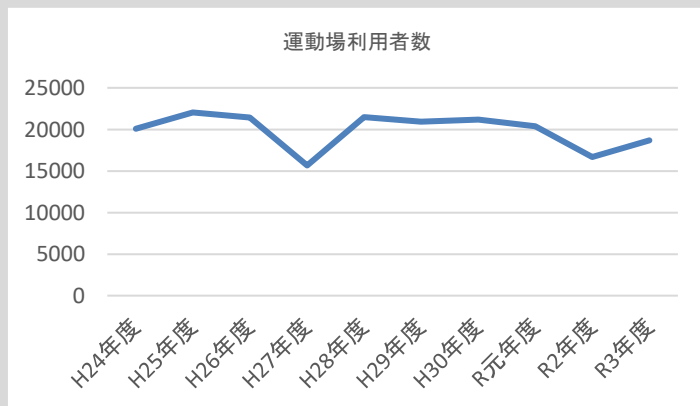
行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
物件費		9,483	9,283	▲ 200	国庫支出金	0	0	0
維持補修費		39	297	258	都支出金	0	0	0
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等		0	0	0	使用料及び手数料	1,057	1,125	68
減価償却費		0	0	0	その他	0	0	0
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	1,057	1,125	68
賞与・退職給与引当金繰入額		0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 8,465	▲ 14,326	▲ 5,861
その他行政費用		0	5,871	5,871	金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		9,522	15,451	5,929	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 8,465	▲ 14,326	▲ 5,861
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 8,465	▲ 14,326	▲ 5,861	
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	0	3,770	3,770	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	140,235	144,005	3,770	その他の固定負債	0	0	0
工作物等減価償却累計額	▲ 140,235	▲ 140,235	0	負債の部合計	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	0	3,770	3,770	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	0	3,770	3,770	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	3,770	3,770	
資産の部合計	0	3,770	3,770					

備考 行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料（日常管理・補修業務、外周樹木剪定）が大部分を占めている。維持補修費の増は、工作物の修繕費用が増加したことによる。その他行政費用は令和3年度にダグアウト撤去・新設工事を行ったため増加した。行政収入は、運動場の使用料収入であり、令和3年度は利用件数が回復したため増加した。

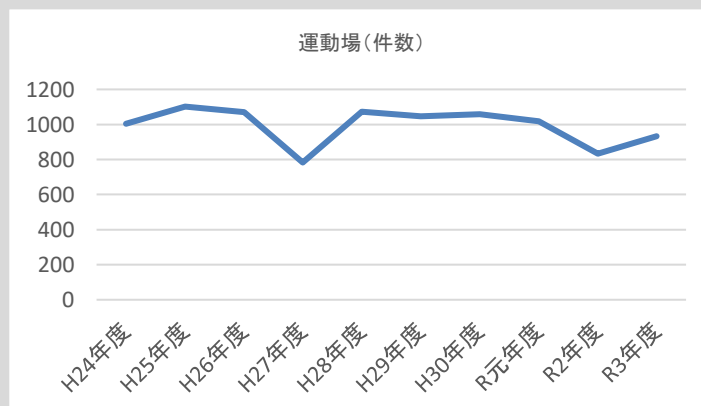
指標		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費(%)	100.0	100.0	100.0	97.4	
	1㎡当たりコスト(円)	1,278	1,397	1,754	2,845	
	受益者負担比率(%)	18.0	15	11	7.3	
	開館1日当たりコスト(円)	19,329	21,136	31,220	48,134	
	利用者1人当たりコスト(円)	328	372	572	828	
	区民1人当たりコスト(円)	32	35	44	72	
備考	施設規模が大きくないため、開場1日当たり・利用者1日当たり・利用者1人当たりコストのいずれも他と比較して低コストで運営ができています。令和3年度はダグアウト撤去・新設工事を行ったため各コストが高くなっている。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	実績値 1,058	1,019	833	933
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	野球、サッカー以外にも、ゲートボール、地域のイベントなど様々な活用がなされている。					
現状・課題	○多目的な利用(サッカー・野球・地域のイベント等)が可能のため、各団体ごとに求めるグラウンド条件が異なる。 ○強風時に砂ぼこりが発生しやすいため、散水等の対策が必要である。 ○グラウンドに凸凹が生じており、水はけが悪く、水溜りができてしまう。					
課題に対する現時点での考え	○各団体と調整を図るなど運動場の特性を生かした運用を図る。 ○強風が予想される際には、事前に散水を行ったり利用者と協力して、散水を実施するなどして、砂ぼこりの発生を防ぐ取組を継続していく。 ○不陸整正や水はけ等の改善を図る。					
議会、利用者等からの意見	○H29決特 平日の運動場の開放について					



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により利用者数が減少したが、令和3年度はコロナ禍前の水準に戻りつつある。



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により利用者数が減少したが、令和3年度はコロナ禍前の水準に戻りつつある。

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-07		
施設名	西新井橋野球場				
所在地	足立区千住元町36番7号先				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和34年4月			
	増改築①	平成27年5月	101,079		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和34年4月		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和34年4月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積		35,057 m ²		
	延床面積		m ²		
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	50台	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	約150台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで
事業内容	①管理・補修業務(大人野球場5面、駐車場):ケルンビルシステム(R4.4.1~R5.3.31) ②駐車場利用者確認業務(駐車場):シルバー人材センター(R5.4.1~R5.3.31)				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	4~9月6:00~18:00、10・3月7:00~17:00、11~2月8:00~16:00			
	休日	年末年始12/29~1/3			

施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
	野球場利用者数		20,646	11,196	11,412	20,718
野球場(件数)		1,147	622	634	1,151	1,198
稼働率		14	9	9	12	12
開場日数		359	203	305	344	358
委託料(円)		19,390,277	41,599,059	60,006,533	20,830,081	22,112,036
に指定 等 管理 費						

備考 令和元年度は台風による冠水被害に伴う休場のため、利用が減少した。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、休場(4月27日~5月11日)、その他状況に応じ利用目的の制限等をしたが、利用状況は例年並みに回復した。

III 財務諸表

(単位:千円)

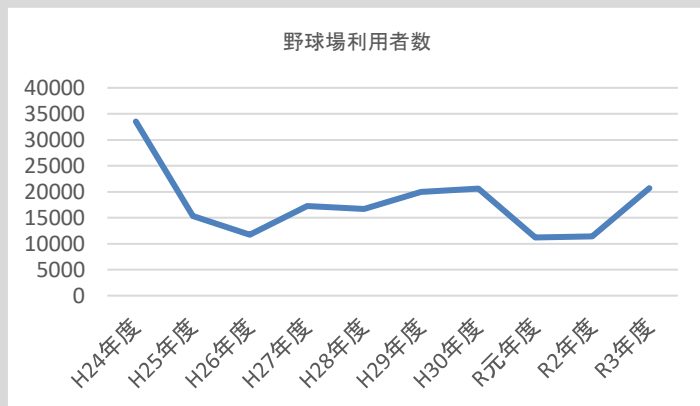
行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
物件費	42,473	50,547	8,074	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	49,711	168	▲49,543	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	439	627	188	
減価償却費	7,220	7,220	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	439	627	188	
賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲98,965	▲57,308	41,657	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	99,404	57,935	▲41,469	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲98,965	▲57,308	41,657	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲98,965	▲57,308	41,657	
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0	
有形固定資産	79,545	72,325	▲7,220	その他の流動負債	0	0	0	
土地	993	993	0	固定負債	0	0	0	
建物	14,660	14,660	0	特別区債	0	0	0	
建物減価償却累計額	▲3,326	▲3,774	▲448	退職給与引当金	0	0	0	
工作物等	101,223	101,223	0	その他の固定負債	0	0	0	
工作物等減価償却累計額	▲34,005	▲40,778	▲6,773	負債の部合計	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	79,545	72,325	▲7,220	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	79,545	72,325	▲7,220	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	79,545	72,325	▲7,220	
資産の部合計	79,545	72,325	▲7,220					

備考 行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料(日常補修業務、駐車場管理運営)が大部分を占めている。令和元年度に発生した台風による冠水被害の復旧整備委託が令和2年度に完了したため、維持補修費が減少した。行政収入は、運動場の使用料収入であり、令和3年度は利用件数が回復したため増加した。

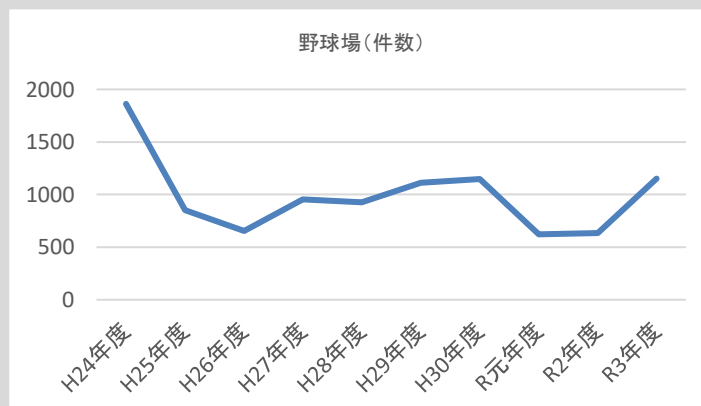
指標		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費(%)	20	26.0	32	38.4	
	1㎡当たりコスト	1,492	3,428	2,835	1,653	
	受益者負担比率(%)	1	0	0	1.1	
	開館1日当たりコスト(円)	145,680	591,990	325,915	168,416	
	利用者1人当たりコスト(円)	2,533	10,734	8,710	2,796	
	区民1人当たりコスト(円)	244	560	463	270	
備考	開館1日当たり、利用者1日当たりコストが高いのは、当施設は河川敷に設置しているため、平日の利用が少ないことによるものである。令和元年度・2年度は台風冠水被害の復旧作業を行ったため、各コストが高くなっている。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	実績値 1,147	622	634	1,151
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ 民営化 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	大人の軟式野球会場として5面を有し、大会開催等の実施会場として需要が高い。					
現状・課題	○河川敷に設置しているため、河川管理上の制約があることから、施設の整備についても制約がある。					
課題に対する現時点での考え	○利用者が安全かつ快適に利用できるよう、貸出ルールや運営方法などソフト面での対応について検討する。					
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 トイレの手洗い場の案内について					



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により例年より減少したが、令和3年度はコロナ禍前の水準に回復した。



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により例年より減少したが、令和3年度はコロナ禍前の水準に回復した。